

## 第17回 きもの文化塾 開催報告

日時：2012年(平成24年)7月5日(木) 14:00-15:30

場所：京都産業会館7階第2研修室(京都市下京区四条通室町東入)

講師：木村 光雄氏(日本染織文化協会 会長)

演題：「きものを彩る自然の植物染料はどうして染まるのか、その科学を解説」

参加者：15名

サポーター(開催をお手伝いくださった方)：山地雅子会員・松下妙子会員

### 第17回 きもの文化塾に参加して(感想)

木村光雄先生は工学博士で、長年染料の研究をされてきました。専門的な知識に基づいて、なぜ染料が染まるのかについてわかりやすく説明くださいました。また天然染料と合成染料、実は基本は同じということもお教えいただきました。

そして木村先生は、新万葉染めという、植物原料を用いてからだにも環境にも優しい染料を開発されました。従来の植物染めは何度も染めなければいけなかったのですが、この新万葉染めでは原料も時間も少なくすむそうです。たとえばハンカチ程度ですと少しの染料とお湯をカップ麺の入れ物のような小さい器に入れてお箸などで攪拌するだけで短時間で染められるそうです。また原料もマリーゴールドの花やくちなしの実など身近なものであることに驚きました。

合成染料には合成染料のよさがありますが、先人たちが使ってきた天然染料にも、とても魅力を感じます。日本には美しい四季があり、その移ろいの中で養われてきた美意識がそのように思うのかもしれない。これを機会にまた勉強してゆきたいと思います。皆さんと楽しく参加させていただきとてもよかったです。ありがとうございました。(会員・山地雅子)

講義中の木村光雄博士



講義風景



※終了後も木村博士を囲んで参加者の質問が続きます

今回の会員サポーター



木村先生を囲んで記念撮影



※開催をお手伝いくださった会員)の松下さんと山地さん。

山地さんは涼しげな小千谷縮でした(写真左)。